

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RD2	科 名 ファッション流通科2年 ショップスタイ	単 位	4単位
科目コード 606205	リストコース	授業期間	前期
	科目名 接客対応スキル A		

担当教員(代表)：門元 伸子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づき HP 上で公開します）  
 時代に合わせ、対面接客・オンライン接客、双方の接客対応スキル習得を目指す。  
 対面接客・オンライン接客の価値や満足度をお客様視点で考え、実践に繋げていく。  
 SOC（首尾一貫感覚）の高い人材を育成する

<p>【授業計画】</p> <p>テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 自己紹介・他己紹介</li> <li>3. ビジスマナー</li> <li>4. 価値観の違いを知る</li> <li>5. 第一印象、笑顔、アイコンタクト、挨拶、立ち居振る舞い</li> <li>6. 購買心理の8段階 動的待機</li> <li>7. あいさつ 敬語 お辞儀</li> <li>8. チームビルディング</li> <li>9. ファーストアプローチ（対面・オンライン）</li> <li>10. セールスポイントとセールストーク</li> <li>11. お聞きだし、受け止め、共感</li> <li>12. 商品の見せ方、羽織らせ方、鏡の使い方</li> <li>13. イチオシ商品紹介①②</li> <li>14. イチオシショップ紹介①②</li> <li>15. お気に入りコーディネートプレゼンテーション</li> <li>16. 相手プロデュース</li> <li>17. 着こなし提案</li> <li>18. コーディネート提案</li> <li>19. 試験説明・ロープレ練習</li> <li>20. 自信を振り返る・まとめ</li> </ol>
---

<p>評価方法・対象・比重（試験3：出席状況4：取り組み姿勢3）          ロールプレイングによる実技試験、出席状況、授業への取り組み姿勢による操業評価 英字評価</p>
---

<p>主要教材図書</p>
<p>その他資料</p>
<p>授業の特徴と担当教員紹介          アパレルでの販売経験があり、現場で経験したことを活かして実践的な授業を行う。          ショップスタイリストとしての立ち振る舞いから対応までの知識と実践力を身につける          SOC（首尾一貫感覚）の高い人材育成を目指す</p>
<p>記載者氏名 門元伸子</p>

# 2025 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RD2	科 名 F 流通科 2 年 ショップスタイリストコース	単 位	2 単位
科目コード 701660	科目名 セールスコーディネート	授業期間	通年

担当教員(代表)：黒沢友美	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- ① セールストークに求められるコーディネートの基本的な知識と技術を理論と実践を通して学ぶ。
- ② 客観的な視点に立ったコーディネートが組める。
- ③ コーディネートを論理的に捉えることで感性の理論化を目指す。

## ◇課題設定

1. テーマに沿ったコーディネートを実践すること：情報を収集する、表現方法を練る、具現化する
2. コーディネートは客観的視点であり、論理的に捉えた解説であること
3. 成果発表で評価を受けること：課題ごとの考えや具現化したものを相手に伝え他者評価を受ける

## ◇授業概要（全30コマ）

### 1. オリエンテーション×0.5

「似合うとは」を考えコーディネートの本来の意味を理解

### 2. 素材に視点を置いたコーディネート×5.5

同素材・異素材・柄のコーディネートの特徴を理解

5W1Hで素材に視点を置いたコーディネートを立案●リサーチ、実践、発表（課題）

### 3. アクセサリーに視点を置いたコーディネート×5

ネックレスの扱い方と装い。デザインと体格とのバランスを理解

5W1Hでネックレスに視点を置いたコーディネートを立案●リサーチ、実践、発表（課題）

※夏季休暇課題

### 4. アクセサリーに視点を置いたコーディネート×5

眼鏡・サングラスの扱い方と装い。眼鏡・サングラスのデザインと顔型とのバランスを理解

5W1Hで眼鏡・サングラスに視点を置いたコーディネートを立案●リサーチ、実践、発表（課題）

※夏季休暇課題

### 5. 体型カバーに視点を置いたコーディネート×8

錯視効果を体型カバーに活用、体型の悩み別コーディネート企画、実践、発表（課題）

### 6. 骨格診断&着回しに視点を置いたコーディネート ×6

3骨格タイプの特徴を理解、身体的特徴を理解

主力アイテムを軸にした組合せを3つのポイント押さえて企画、実践、発表（課題）

※冬季休暇課題

## 評価方法・対象・比重

S～C・F評価

評価基準：出席日数（10%）、プリントノート（10%）、課題（30%）、プレゼンテーション（20%）、試験（30%）

主要教材図書	文化ファッション大系ファッション流通講座⑦コーディネートテクニック演出編
参考図書	文化ファッション大系ファッション流通講座④コーディネートテクニックアクセサリー編 II
その他資料	一般社団法人骨格診断ファッションアナリスト認定協会骨格診断ファッションアナリスト公式テキスト

記載者氏名 黒沢友美 （アパレル企業において人事採用業務、現場での販売員育成を行う）

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RB1	科 名	ファッション流通科 1 年	単 位	2 単位
科目コード		科目名	ファッション色彩	授業期間	( 通 年 )

担当教員(代表) : 三木ゆか	共同担当者 : 落合里美
-----------------	--------------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション流通の色彩に関する基礎的な技術や知識を、演習を中心にを行いながら習得する。ファッション色彩能力検定 3 級に対応。テキストの内容に沿った講義や実習プリントの学習を通し、色彩の基本的な知識、配色の基礎、ファッションカラーコーディネートへのセオリーなどを理解し、ファッションの現場で活用できる能力を身につける。

## 【授業計画】

- 導入 色について 〈講義 1 コマ〉
- 色の三属性
  - 色の三属性（色相・明度・彩度）
  - 等色相面／色立体
  - Hue & Tone システム 〈講義および演習 5 コマ〉
- 配色の基礎
  - 色相を基準とした配色
  - トーンを基準とした配色 〈講義および演習 6 コマ〉
- ファッションカラーコーディネート
  - フォ・カマイユ配色、トーン・イン・トーン配色
  - トーン・オン・トーン配色、グラデーション配色
  - コントラスト配色
  - セパレーションカラー、アクセントカラー 〈講義および演習 4 コマ〉
- 色彩構成の基礎
  - シンメトリー／アシンメトリー
  - レピテーション／グラデーション 〈講義および演習 2 コマ〉
- 色彩の理論（テキスト『ファッション色彩 1』に沿った、ファッション色彩能力検定試験 3 級に対応する学習）
  - 1 章「概論－色彩のはたらき」／2 章「色彩の体系」／3 章「色彩理論－基礎」
  - 4 章「色彩の技術」／5 章「ファッション産業と色彩」 〈講義 7 コマ〉
- パーソナルカラー
  - 4 シーズンのカラーパレット
  - 4 シーズンの特徴
  - パーソナルカラー診断 〈講義および演習 3 コマ〉

## 【評価方法】

S～C・F 評価

前期試験の得点、F 色彩能力試験 3 級合格 30%、提出物の評価 40%、出席、課題の提出状況など授業態度 30%

主要教材図書 『ファッション色彩 1』（文化出版局）

参考図書

その他資料 ベーシックカラー 140・B6 判、ベーシックカラー 140・B8 判（日本色研事業株式会社）、カラーチャート 140

## 授業の特徴と担当教員紹介

カラーコーディネーターのキャリアを活かし、ファッション業界の現場でビジネススキルとして活用する「カラーコーディネート」の習得を目指す授業を実施。

記載者氏名 三木ゆか